

たまきゅう便り

発行
多摩丘陵病院
広報委員会
町田市下小山田町
1491

多摩丘陵地域医療を 考える会開催

平成28年3月12日、当院研修室にて、第1回 多摩丘陵地域医療を考える会が開催されました。「地域包括ケアシステムの構築と課題を考える」をテーマに、島津院長の挨拶と、多摩丘陵病院の活動について紹介の後、当院内科部長の町田陽二医師が「地域包括ケア病棟の役割について」と題した講演を行いました。地域包括ケア病棟は、地域の皆様のために、病気の一面のみを診るのではなく全体的・全人的な医療をご提供するという島津院長の理念のもと急性期治療を終え、在宅復帰をめざす患者様に診療や看護、リハビリをご提供する病棟です。また在宅復帰を前提に急性期ではないが入院が必要な患者様の

受け入れも行っております。今回の講演は、多施設間や多職種間の情報共有を基盤に、地域の皆様の在宅復帰を目指して、院内外の医療・介護従事者が連携し地域医療に

貢献出来るようになることを目的として行われました。会には近隣地域の診療所の先生や介護・福祉施設の担当者が多数出席され地域医療連携に貢献出来たものと考えております。



島津院長より病院紹介



講演中の内科部長町田陽二医師



地域連携室の職員

地域連携室のご紹介

当院の地域連携室は、室長(医師1名)・看護師1名・医療ソーシャルワーカー6名・事務2名の10名で構成されています。前方連携・院内連携・後方連携を担う役割を主として活動しています。地域の医療機関・介護サービス事業者等と当院医師をはじめとする職員とのパイプ役となり、連携がスムーズになるよう努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

地域連携室 直通番号(FAX兼用) 042-797-1516



ジェネリック医薬品について

テレビ等でよく聞くジェネリック医薬品。2016年4月より、当病院でも一部の医薬品についてジェネリック医薬品へ切り替えることになりました。

皆様は安心してご利用頂くために今回はジェネリック医薬品についてお話しいたします。

・ジェネリック医薬品とは？

・医薬品の特許について
 ・安全性、効果について
 これらについて説明していきたいと思えます。

・ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは？

ジェネリック医薬品は、厚生労働省が先発医薬品と同等と認めた医薬品です。先発医薬品の特許満了後に、有効成分、分量、用法、用量、効能・効果が同じ医薬品として新たに申請され、製造・販売される安価な医薬品です。また、製品によっては大きき、味、においの改善、保存性の向上等、先発医薬品よりも工夫されたものもあります。



・医薬品の特許について

医薬品の特許は複数存在しますが、ジェネリック医薬品が発売されるためには新しい物質に与えられる「物質特許」、特定の物質に対する新しい効能・効果に与

| 同じところ | 工夫できるところ |
|--|--|
| 有効成分 …成分含量 [※] 治療効果 …有効性・安全性 効能・効果 [※] 用法用量 [※] 使用上の注意 [※] | 製剤 …添加物(種類および量) 性状(色や味、臭い、形、大きさなど) 剤形 例) 内服薬.....錠剤やカプセルなどの薬の種類 飲みやすさ、味 外用薬(貼り薬など)...貼り心地、剥離紙の表示など (薬価は、製剤ごとに異なります) |

注) 新薬の使用状況を見て、先生方や患者さまにとってより使いやすい含量の製剤を作ることができます。
 ※ 一部、異なる場合があります。

エルメッドエーザイ株式会社ホームページより転載

えられる「用途特許」、の2つの期間が満了していなければなりません。この2つの特許が切れることにより先発医薬品と主成分が同じジェネリック医薬品を製造することができず、

物質の新しい製造方法に与えられる「製法特許」、薬を製剤する上での新しい工夫に与えられる「製剤特許」などがあり、前述した2つの特許が切れたあとも、これらの特許には有効期間が残っている場合が多々あります。

全ての特許が切れてなければ全く同じ添加剤等での製剤が難しいため、多くのジェネリック医薬品が添加物や製法の違う製剤となつています。

ジェネリック医薬品の中には、先発品の製薬会社が特許権をオーソライズ(公認)し別の会社が販売するものを特にオーソライズドジェネリック(英: Authorized generics, 以下AG)といえます。ジェネリック医薬品は先発品と有効成分が同一の医薬品ですが、AGは先発品と原薬、添加剤、製法等が同一の医薬品となりません。AGは生物学的同等性などの試験を省くことができます。

また先発品の特許が切れる前に発売することができるとも利点もあります。

・ジェネリック医薬品の安全性と効果について

ジェネリック医薬品は先発品と同じ有効成分を使用しています。先発品の長年にわたる使用実績をふまえて発売されるため、その効き目や安全性が十分確認されています。

また、ジェネリック医薬品は承認時に、同じ速さで同じ量の有効成分が体内に吸収されるかを確認する試験(生物学的同等性試験)、長期に保存しても品質に変化がないかを確認する試験(安定性試験)をして有効性・安全性・品質を保証しています。

副作用は同じ有効成分であれば、先発品、ジェネリック医薬品に関係なく起こる可能性があります。ジェネリック医薬品の中には、先発品と色や形が違うものも

あります。これは先発品が発売されてからジェネリック医薬品が発売される間の製造技術の進歩や、製薬企業の製剤開発の工夫によって、より飲みやすく改良することが。色や形、甘みや香りなどの異なる添加剤が使用されることがあります。が薬の効果が異なることはありません。

また、使用する添加剤は、それ自体では人に対して薬理作用が無く、安全性も確認されたものだけを使用しており、先発品を含め、広く医薬品に使用されているものですのでご安心下さい。

ただし、アレルギーをお持ちの方は、先発品、ジェネリック医薬品を問わず、添加剤の中でアレルギーを起こす場合もありますので、医師や薬剤師にご相談下さい。

※ 添加剤について
 医薬品に使用する添加剤については、先発品・ジェネリック医薬品を問わず、日



ご不明な点、ご心配な点がありましたら主治医、または薬剤師にご相談ください。
薬剤科 石井 紀彦

・日本ジェネリック製薬協会 <http://www.jga.gr.jp/>

左記のホームページでもジェネリック医薬品について詳しく説明があるのでご参照ください。
・厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/seisaku/2012/03/01.htm>

本薬局方の製剤総則の規定により、薬理作用を發揮したり、有効成分の治療効果を妨げる物質は使用できません。使用前例のある、安全性の確立された添加剤のみ使用されています。

患者様への安心を！

「繰り返し訓練をす

認定証・終了証を發行しています。ガイドラインの見直し等の都合上 認定証の有効期限は2年間と決まっていますが

講習の時間は勤務が終わってからの約2時間、看護師・コメディカル・事務と職種に関わらず多くの職員を対象に、田中先生の講義から始まり、人形を使っての胸骨圧迫の訓練、AEDの使い方最後に確認小テストを行います。

当院では職員の技術向上と意識の向上を目的に平成24年より定期的に

より定期的に
国士舘大学の田中秀治教授によるBLS (Basic Life Support) (一次救命処置) 講習会を田中先生とインストラクターの先生(救急救命士)にお願いして行っています。



ることが大切です、わたしたちは1人でも多くの職員にAEDを正しく使えるようになってもらいたいと思っています」と田中先生。

認定証を手にして改めて喜びを実感するスタッフを見ていると、より多くの方への参加して頂きもつ

とものとBLSを広げていきたいと思

待ちしております。

今後はこのような講習会を受ける機会が無い 病院関連施設などにも受講して頂けるように呼びかけを考えておりますので、皆様の参加をお

お待ちしております。

各グループごとに胸骨圧迫の訓練中！
皆さん想像以上の体力の消耗にびっくり！お疲れ様です。



AEDの練習中！
ガイダンスをよく聞いて行うだけですが注意点もあるので皆さん真剣に質疑応答をしてました。



国士舘大学 田中 秀治教授

発行元
医療法人社団幸隆会

多摩丘陵病院

〒194-0297

東京都町田市下小山田町 1491

042-797-1511 (代表)

<http://www.tamakyuryo.or.jp/>



健康管理科よいお得なお知らせ



当院では、毎年1月、4月および5月を、人間ドック受診の皆さまへのサービス月間といたしまして、腫瘍マーカーの【PSA・CA125】検査を無料にて行っております。

お得なこの期間にぜひ人間ドックをご利用ください。

こんにちは！『たま・きゅうたろう』です！
多摩丘陵病院のマスコットキャラクターとして
医事課で生まれました☆

これからも、皆様の生活のお役に立てますよう、医療、
介護をはじめ健康情報等をお伝えしてまいります♪

